

農業委員会だより

平成19年1月9日

編集・発行

焼津市本町2丁目16-32

焼津市農業委員会

TEL. 054-626-2159

農家意向調査

回収率約八十五％ご協力ありがとうございました。

平成十八年八月一日現在で、農家意向調査を行いました。

農協や部農会の協力を得て、市内の農家を中心に二千三百四十戸に就業状況、農地の利用状況、農業機械の所有、今後の農業経営についての意向（農地の貸借や作業委託等の希望）をお尋ねしました。

結果を地区別にまとめました。

農地の面積は、市内全体で約一千ヘクタール、その内水田は約七百六十ヘクタールになります。そのうち今年度貸付や作業委託等を希望される農地は約三百筆、面積は十八ヘクタールになります。

新しい年を迎えて

焼津市農業委員会 会長内田正幸

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。今年の農業、農政を取り巻く情勢は大きく変わろうとしており、農業は、厳しい荒波にさらされることが予測されます。

農水省は今年から米・麦など土地利用型農業の経営安定施策として、担い手農家（四ヘクタール以上耕作）と集落営農組織（十三ヘクタール以上保有）を育成するとし、財政的な支援策を用意して新政策を積極的に進めようとしています。

当地区では、経営規模が小さく、高齢化と農機具の老朽化により経営から撤退する農家が増えてきており、耕作放棄地が増加傾向にあります。こうしたことから、現在担い手として活躍している方々のさらなる規模拡大と新たな担い手出現を期待したいと思えます。

一方、水田転作事業の推進も今年からは、行政主導からJA主導に替わることにあります。大部分の農家は、これから地産・地消で「新鮮・安全・安心」な作物の安定供給に取組み、消費者との密接な関係を築いていくことが重要かと思えます。

今年も農業委員会活動にご理解・ご協力をいただきますようお願い致します。結びに今年が皆様方にとりましてご多幸な年になりますよう、お祈り申し上げます。

農作業を他人に委ねる農家は、高齢化や、担い手の減少などにより毎年二％程度増加すると思われる。

一方、農地の荒廃化が進み現在耕作放棄地は、平坦部だけでも約七ヘクタールに及び、これも増加傾向にあります。

当農業委員会では、調査結果を活用するために、農協や認定農業者（注）等の協力を得て、なるべく皆様方のご希望に応えられるよう、努力をし農地の流動化を進めたいと考えております。

皆様方には大変お忙しい時期に、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

注 認定農業者

農業経営基盤強化促進法第12条の規程に基づき農業経営改善計画の認定を受けた農家。各種の農業保護政策を受けられる。

意向調査結果（貸付、作業委託の希望）

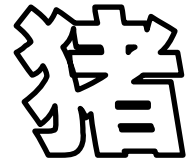
地区	筆数	面積ha	地区	筆数	面積ha
焼津	12	0.5	東益津	50	3.5
豊田	29	1.6	大富	104	4.9
小川	32	1.3	和田	66	4.8
その他	11	1.2	合計	304	17.8

部会の活動を紹介します。

(政策企画部会)

ー市民農園の実情を学び、当市の事業に反映させたいー
先進都市を視察しました。

視察先 H18年6月 掛川市道の駅農産物販売所、学園花の村市民農園
H18年9月 静岡県農業試験場(磐田市)・浜松市市民農園
H18年11月 千葉市あすみガーデン市民農園・印西市草深ふるさと農園



市民
農園

市民農園は、サラリーマンや高齢者、小中学生などを対象として設置されます。市民はここで小面積の農地を利用して、健康促進やレクリエーションなどの目的で農作業に参加できます。野菜や花を育てる作業を通じて農作業が体験できます。

1. 市民農園の検討

市民農園の促進は、荒廃地の対策にも有効と思われます。
今年度は、建替が予定されている大富公民館の隣接地にモデルとなる市民農園の開設を検討しています。
今後、市民農園についてアンケートを実施したいと考えています。

2. 田尻北荒廃地対策の検討

最近特に、松原公園の周辺では農地の荒廃化が進んでおり、その原因の一つとして塩害があげられています。この地区は、海岸に近く潮位の影響を受けやすいためです。農業委員会としては、既設水門の改良を要望したいと考えています。



(農地利用部会)

1. 農地の有効利用対策を検討

農業従事者の高齢化などで耕作が出来なくなったり、維持管理も難しくなっており、結果として耕作放棄地が増えています。

本部会では、対策として認定農業者への農地の集積を推進しています。また、市民農園などに利用することも検討しています。

2. 農地パトロールを実施

農地の現況調査を行いました。雑草が茂っているなど管理が不適当な土地が目につきましたが、このうち特に周囲に迷惑をかけていると思われる農地の所有者には注意を促しました。

(農業振興部会)

利用
集積

農業経営基盤強化促進法第18条の規程に基づき利用権を設定することにより農地の貸し借りができる。解約時の手続が従来の方法に比べて簡単なことから、担い手農家の規模拡大に寄与してきた。

1. 農業者との意見交換会、担い手育成について検討

- ①耕作放棄地(遊休農地)の増加と農地の集積について
- ②認定農業者の育成及び農業生産組織の育成について

などを主な議題として農業委員と認定農業者等との意見交換会を行いました。

農業委員と認定農業者 との意見交換会

(農業振興部会)

焼津市の農業振興について、農業委員の代表と認定農業者（農業振興会※）が意見交換を行いました。今年度は稲作農家を中心に2つのグループに分かれて話し合いを行いました。「耕作放棄地の状況調査」及び「農家意向調査」の結果を踏まえて農地利用集積をどう進めるかという点が話し合いのテーマです。交わされた意見は、それぞれの組織活動のなかで、活用することとしました。

また、次回は高草山の対策も取り上げてみることにしました。

【開催日】平成18年12月13日(水)

【開催場所】焼津市役所



【A班：内田座長】



【B班：八木座長】

主な意見

- 水稻のほか、複合経営のなかで農地集積を図ったらどうか。
- あちこちに受託農地を広げていくのではなく、面的なまとまりをもって農地を集積したい。
- 担い手集団の組織を立ち上げ、認定農業者等が運営していきたい。
- 農地集積の図面を作成して合理的な活用を図る。
- 水稻作業受託組織を立ち上げて、推進して行きたい。
- 受け手側としては、狭い農地は集積するのが難しい。
- 窓口となる組織の機能が十分に働いていない。
(個人が直接委託を受けている。)
- 集積しにくい農地は、適切な管理ができる方法を検討する。

※農業振興会の活動内容

- (1) 新規認定農業者の掘り起し
- (2) 各種研修会、講演会、研究会の開催・参加
- (3) 会員に対する各種情報の提供
- (4) 会員相互の情報交換
- (5) 関係団体・協議会への参加 等

※ 事務局からのお願い
農業委員の選挙人名簿をまだ提出されていない方は、至急農業委員会まで提出いただくようお願いします。

お問合せは

焼津市本町二丁目16番32号
焼津市農業委員会事務局

054-626-2159

親子農業体験教室！好評です。

一子供たちの生きる力を養い、市民の農業への理解を深めるために一農政課が主催の「親子農業体験教室」が5年目を迎えました。

今年度は、田畑での農作業を実際に体験することで、「農業の楽しさ」や「農家の苦労」も学べる教室を開催しています。参加者は、先生になってくれる農家と一緒に草刈りも体験しました。

以下に3つのコースを紹介します。

自分で作ったお米でもちつき大会

5月27日田植、10月14日稲刈り、
12月9日もちつき
(参加大人31人、子供34人)



(市内一色の水田にて)

市内一色の水田で昔ながらの手植え、鎌による刈取り、はんで掛け＊を体験しました。収穫したもち米でもちつき大会を行ない、**焼津のお雑煮**も楽しみました。参加者からは「お米はスーパーに行けば簡単に手に入るけれども、こうして農作業を体験してみると大変でした。子供にも、作る人の苦労がわかったと思います。」との感想が聞かれました。

2月には、米の料理教室も予定しています。

＊はんで掛け
刈り取った稲を竿
(はんで) にかけて
乾燥させます。



大豆とさつまいもの大収穫祭

6月3日さつまいもの植付け、7月29日大豆植付け、
8月26日草刈り、11月18日いもほり
(参加大人18人 子供26人)

植付けから収穫まで、畑で行なう作業を体験しました。

いもほりでは、みんな持ちきれないほどのさつまいもがお土産になりました。収穫された大豆は「味噌と豆腐づくり教室」(1月下旬開催予定)で使います。参加者からは「収穫が楽しく、農業のやりがいを感じた。」という声が多く聞かれました。



(市内田尻の農園にて)

茶業試験場見学

8月4日 静岡県茶業試験場(菊川市)
お茶の郷(島田市)



(菊川市の県茶業試験場にて)

午前中は親子で茶畑の見学。茶業試験場でお茶の勉強。午後はお茶の郷で茶道を体験しました。「普段、何気なく飲んでいるお茶だけれど、生葉の生産から飲み方まで知ることができ、お茶に対するイメージが変わった。」との感想が聞かれました。